

うきしま沼の開発

②

水とたたかう

浮島沼の歴史は、「水とのたたかいの歴史である」といっていいかもしれません。

浮島沼には、和田川、たじゆく川、滝川、あかぶち川、すど川、春山川など、たくさんの川が流れこんでいます。ところがこれらの川は、雨がふればたちまち沼を湖に変えてしまいます。

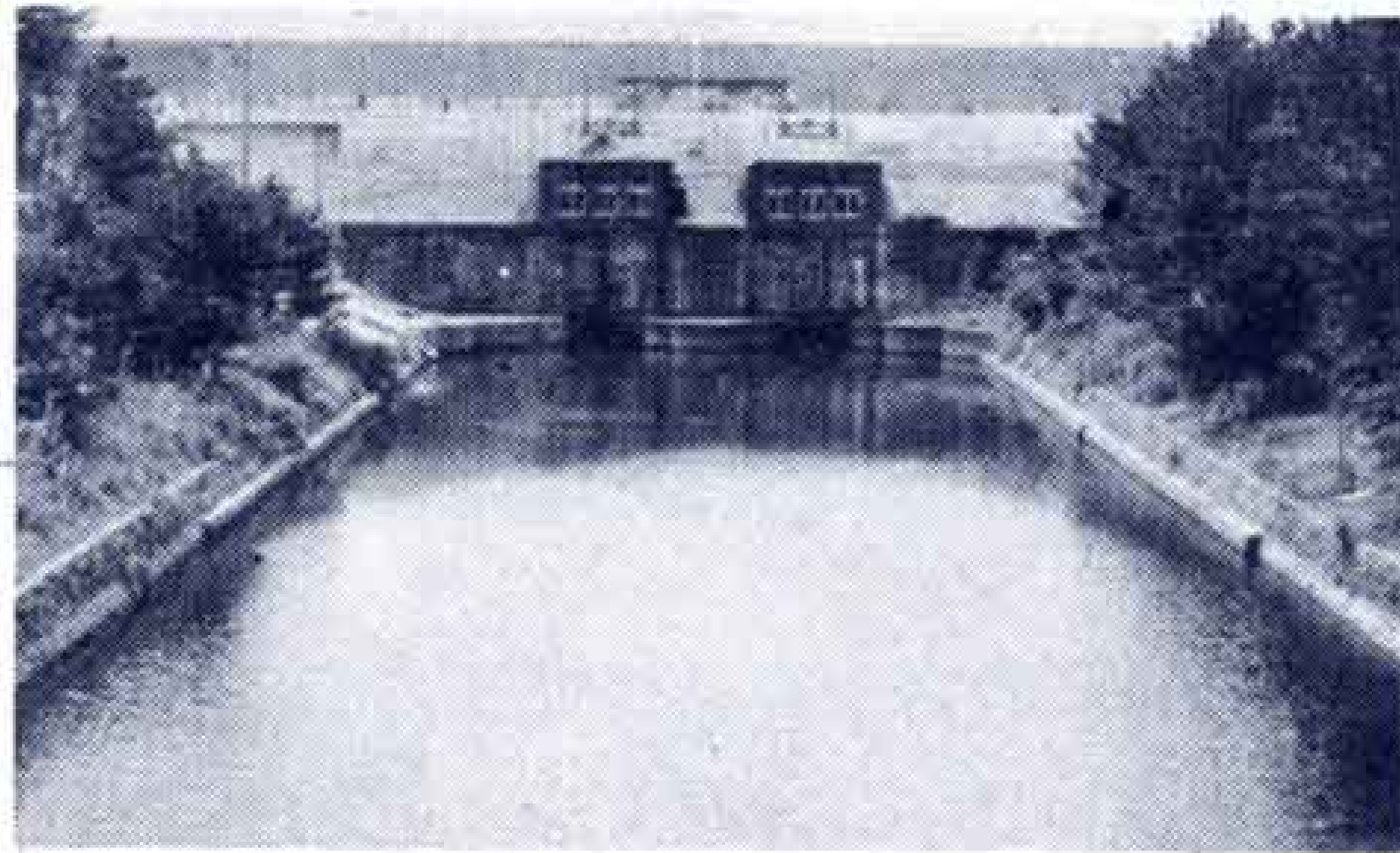
天文堀の完成で、大野新田や松新田、田中新田の水はけはよくなりましたが、これより東の柏原や原は、いく日も水がひきません

昔のお百姓さんは、自分の田畑をもたないみずのみ百姓や、20アールくらいしかもっていないこま百姓がほとんどです。20アールでは、おとな2人が食べていくのがやっとですが、それでさえ水害であてにはなりません。

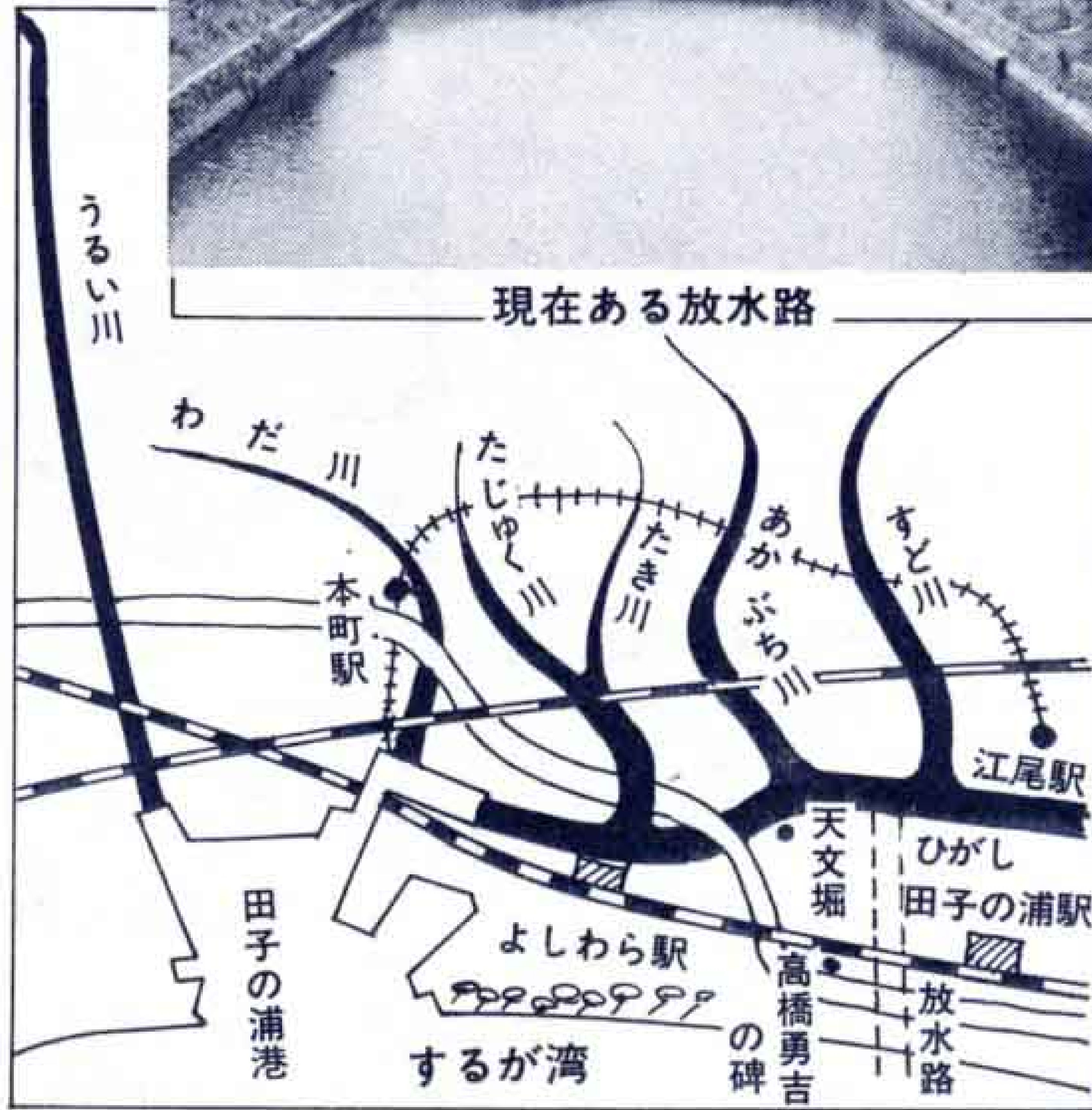
原宿の増田平四郎さんは、お百姓さん達の

田畑をもっとふやし、水害からも守るため、沼の水をすくが湾へ出す放水路を作ることを計画しました。放水路は、明治2年の春やっと完成しましたが、その年の8月、台風と高潮のためつぶれてしまいました。

現在ある放水路は、昭和17年にできたものです。



現在ある放水路



むし暑い夜がつづいていますが、こんなときに

ねびえをふせごう



—6—

もったり冷えたりしないように、いつも働いてい

私達の脳は、体が熱を

おこります。

るあいだに、体が冷えて

ねびえは、ねむつてい

えです。

おこりやすいのが、ねび

つけましよう。

たさにとても弱いのです

はだかのおなかは、冷

なりませう。

きは、その働きがにぶく

でも、ねむつてい

ます。

麦わらで作るんだよ

麦わらで、牛や馬、それからちょっとむずかしいけれど、人形もできるんだよ。

お父さんやお母さんに聞いてごらん。

「こどものころ、水車やほたるかごも作ったっけ」なんていうよ、きっと……

ごてん庭の清掃作業

7月21日から、吉原第3中学校の林間学校がはじまった。

第1日目は、ごてん庭の清掃作業。昼ごろ、宝永山下のごてん庭に着きさっそく作業開始。リュックの中に用意してきた大きなビニール袋が、たちまちクズや空きカンでいっぱいになる。

美しい自然の中に、なぜこんなにゴミをすてるんだろう。

